

この説明書をよく読んでから使用して下さい。

** 2024年5月改訂(第5版)
* 2016年4月改訂(第4版)

MIZUHO MEDY Co., Ltd.

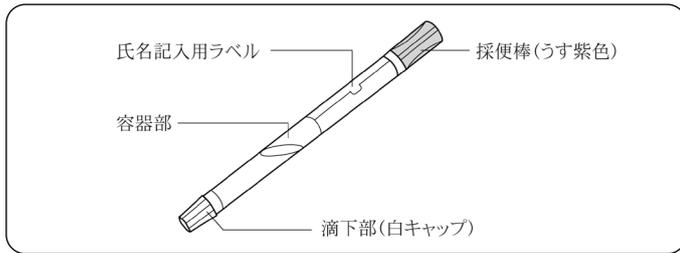
採便セット

【はじめに】

本採便容器は、便潜血試験用として開発された容器部及び採便棒よりなり、簡単に一定量の便を採取することができます。また、容器部内の緩衝液は、検体採取後の保存安定性に優れ、高い精度を保ちます。

【採便方法】

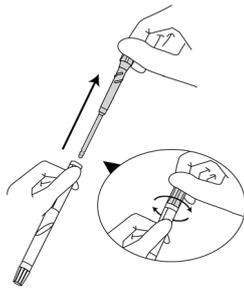
●採便容器各部名称



*●便のとり方

- ①うす紫色キャップ(採便棒)を左に軽くまわしながら取り外します。

※この時点では白キャップは外さないで下さい。
うす紫色の採便棒を外した状態で容器部の開口部を横や下に向けしないで下さい。容器内部の液がこぼれる可能性があります。



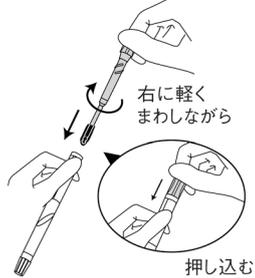
- ②採便棒の先端の溝部で、便の表面をまんべんなくこすりとって下さい。

※採便棒の先端部に付着した便はできるだけ取り除いて下さい。

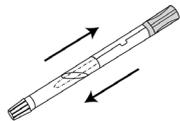


- ③採便棒を容器部に入れ、右に軽くまわしながら押し込みます。

※採便棒を右へ軽くまわしながらしっかり押し込んで下さい。



- ④採便容器を強く数回振って、溝に付着した便を溶解し便懸濁液をつくり、検体とします。



(注意)・子供の手の届かない所に保管して下さい。
・誤って飲んだり、点眼、点鼻したりしないで下さい。
・やむを得ず廃棄する場合は、大量の水で希釈して下さい。

【採便に際しての留意事項】

- 1)検体は新鮮な糞便を用いて下さい。
- 2)生理中の人の糞便は正しい結果が得られませんので検査に用いないで下さい。

【取扱い上の注意】

- 1)採便容器を患者に渡す場合は、次のことを注意して下さい。
- *①採便容器の緩衝液中には防腐剤として0.1%アジ化ナトリウムが含まれていますので、飲んだり、点眼、点鼻したりしないで下さい。もし、誤って飲んだり、点眼、点鼻したりした場合は、水でよく洗い流して医師の診断を受けて下さい。
- ②子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 2)使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。
- 3)採便容器内の便はおおむね1週間は安定していますが、3日以内に検査を実施することをお勧めします。
- **4)便潜血反応検査は、キットの電子添文に従って操作して下さい。
- 5)偽陽性の原因になりますので、採便棒の先端には手を触れたりだ液を付着させたりしないで下さい。
- 6)採便容器から便懸濁液が漏れないように、採便棒はしっかり押し込んで下さい。
- 7)採便容器滴下部のキャップがはずれると液漏れしますので、測定まではキャップを回さないで下さい。
- *8)採便容器の緩衝液中には、防腐剤として0.1%アジ化ナトリウムを含有しています。アジ化ナトリウムは、鉛管、銅管と反応して爆発性の強い金属アジドを生成することがありますので、廃棄の際は多量の水と共に流して下さい。
- *9)試薬及び器具等を廃棄する場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理して下さい。

【貯蔵方法・有効期間】

- ・貯蔵方法：室温(1~30℃)
- ・有効期間：24ヵ月(使用期限は外装に記載)

**【包装単位】

- ・採便セット 50回分
 - ①採便容器(採便棒付) 1mL×1本
 - ②患者用説明書(便のとり方) 1枚
 - ③ビニール袋(提出用袋) 1枚
- ×50袋
(③に①と②が入っています)

文献請求及びお問い合わせは
株式会社 ミズホメディアー 学術担当窓口
佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4 フリーダイヤル 0120-12-4636
FAX 0942-85-0335